



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.19
令和2年12月17日
文責：校長 福島

先生の仕事 ～特別支援教育支援員～



つばさ学級を中心に子供たちのサポートをするのが特別支援教育支援員です。
本年度力を入れている「特別支援教育の浸透」に欠かせない存在です。

先週も書いたように、つばさ学級の子供たちは「つばさ学級」と所属する学年の「交流学級」を行き来しながら学んでいます。担任はつばさ学級で授業をしているので、交流学級では支援員が見守ることが多いです。つかず離れず必要な時に必要な支援をするのが支援員の大きな仕事であり、プロフェッショナルな技量が求められます。必要以上に支援をすると子供の自立を妨げることとなります。必要な支援が欠けると子供が自信を失うこともあります。そのさじ加減は本当に難しいのですが、いつも笑顔で絶妙な支援をしています。

職員一同、5人の仕事ぶりから学ぶことが多いです。「支援を求めている子供のサインに気づいているだろうか」「本当は自分でできるのに与えすぎてはいないだろうか」654人すべての子供の可能性を広げるために、常に振り返っていきたいです。そのことが、自尊感情を高めることにつながります。

ご家庭ではいかがでしょうか。

愛情を欲しているお子様のサインに気づいているでしょうか。

自立を促すために、お子様の力を信じて任せる場面があるでしょうか。

子供はみんな自分の力で伸びようとしています。与えすぎていないでしょうか。